
**中心市街地活性化基本計画
平成 24 年度最終フォローアップ報告**

**平成 25 年 10 月
内閣官房地域活性化統合事務局
内閣府地域活性化推進室**

目 次

- I. 中心市街地活性化基本計画 最終フォローアップの概要 …… 3ページ
- II. 目標指標分野別分析結果の概要 …… 4ページ
 - (1)集計結果について
 - (2)取組の進捗状況について
 - (3)目標達成の状況について
 - (4)基準値からの改善状況及び目標達成状況について
- III. 中心市街地活性化テーマ別分析結果の概要 …… 9ページ
 - (1)集計結果について
 - (2)取組の進捗状況について
 - (3)目標達成の状況について
 - (4)基準値からの改善状況及び目標達成状況について
- IV. 計画期間終了後の中心市街地の状況 …… 12ページ
 - (1)進捗・完了状況及び活性化状況について
 - (2)中心市街地活性化協議会の意見について
 - (3)市民からの評価、市民意識の変化について
- V. 中間フォローアップ報告との比較 …… 14ページ
 - (1)進捗・完了状況及び目標達成状況について
 - (2)取組（事業等）の進捗・完了状況について
 - (3)目標値の達成状況について
- VI. 好取組事例 …… 15ページ
- VII. 取組の進捗・完了状況及び目標達成状況に関する各市からの報告 …… 17ページ

Ⅰ. 中心市街地活性化基本計画 最終フォローアップの概要

中心市街地活性化を図るために、市町村が作成し、推進する「中心市街地活性化基本計画」（以下「基本計画」という。）については、中心市街地活性化法の改正（平成18年施行）の後、第1号に認定が行われた平成19年2月以降、現在までに、計116市作成による140件の基本計画が内閣総理大臣の認定を受けています。

平成24年度末をもって、全国30市における30の基本計画が計画期間を満了しました。今般、この30市が中心市街地活性化における取組の進捗状況及び目標達成状況等について、最終フォローアップとして自己評価を実施しました。

最終フォローアップについて

- 認定を受けた基本計画では、各市町村が複数の目標を掲げている。各目標においては、その達成状況を的確に把握できるよう、定量的な指標（目標指標）を設定している。
- 今般、最終フォローアップ対象となる30市の基本計画では、合計95の目標指標が採用されており、各種事業をもって当該目標の達成に向けた取組が行われてきた。
- 認定を受けた基本計画については、各市町村自ら計画期間満了後に、取組（事業等）が予定どおり進捗したのか、市町村としての目標は達成されたのか等を自己評価（最終フォローアップ）として報告して頂いている。

平成24年度最終フォローアップ対象計画

30市 30計画 95指標※（詳細はP17、18に掲載）

※平成25年9月末時点で、116市140計画が内閣総理大臣の認定を受けている。

【参考：平成23年度】14市 14計画 50指標

取組の進捗状況と目標達成に関する集計結果

○フォローアップ対象の全95指標を下記の分類により集計を行った。

<取組の進捗・完了状況及び目標達成状況等の分類>

- A（計画した事業は概ね予定どおり進捗・完了。さらに、最新の実績でも目標値を超えている。）
- a（計画した事業は予定どおり進捗・完了しなかった。一方、最新の実績は目標値を超えている。）
- B（計画した事業は概ね予定どおり進捗・完了。一方、最新の実績では基準値を超えたが、目標値には達していない。）
- b（計画した事業は予定どおり進捗・完了しなかった。また、最新の実績では基準値を超えたが、目標値には達していない。）
- C（計画した事業は概ね予定どおり進捗・完了。一方、最新の実績では目標値及び基準値にも達していない。）
- c（計画した事業は予定どおり進捗・完了しなかった。また、最新の実績では目標値及び基準値にも達していない。）

	事業の進捗は順調	事業の進捗は順調でない
目標達成	A : 23指標 (24%) 〔平成23年度：14指標 (28%)〕	a : 3指標 (3%) 〔平成23年度：2指標 (4%)〕
目標は未達だが、 計画当初より改善	B : 17指標 (18%) 〔平成23年度：10指標 (20%)〕	b : 11指標 (12%) 〔平成23年度：3指標 (6%)〕
計画当初 より悪化	C : 27指標 (28%) 〔平成23年度：14指標 (28%)〕	c : 14指標 (15%) 〔平成23年度：7指標 (14%)〕

II. 目標指標分野別分析結果の概要

各市がフォローアップを行った目標指標を7分野に分類し、各分野の取組の進捗・完了状況、目標達成の状況、基準値からの改善状況等について分析した。

(1) 集計結果について

目標指標分野別集計結果

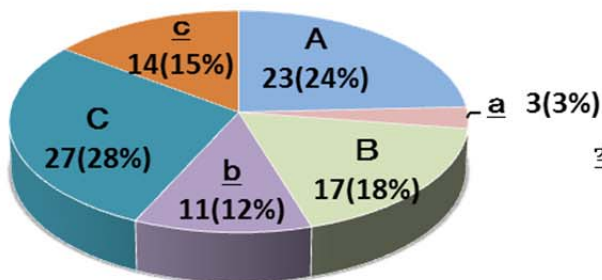
○ 各市がフォローアップを行った目標指標に係る取組の進捗・完了状況及び目標達成の状況について、以下の①～⑦の7つに分類した上で集計を行った。

見通し	全体	① 通行量	② 居住人口 等	③ 販売額等	④ 空き店舗 等	⑤ 施設入込 数等	⑥ 公共交通 機関利用	⑦ その他
A	23	9	3	2	0	5	0	4
a	3	1	0	0	1	1	0	0
B	17	5	4	0	3	5	0	0
b	11	4	0	1	1	2	2	1
C	27	7	7	7	2	3	0	1
c	14	5	3	4	1	1	0	0
合計	95	31	17	14	8	17	2	6

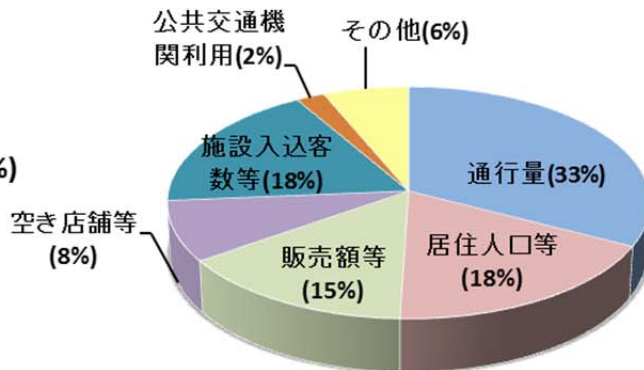
<目標指標分野の分類基準と主な取組例>

目標指標分類	主な目標指標	主な取組例
① 通行量	歩行者・自転車通行量 等	公共交通整備、駐輪場整備、歩行空間整備、文化交流施設整備、商業施設整備、イベント開催 等
② 居住人口等	居住人口、年間社会人口動態 等	居住環境整備（土地区画整理、マンション建設、商業施設整備等）、家賃補助 等
③ 販売額等	小売業年間商品販売額、年間売上額 等	駐車場整備、集客拠点整備、イベント開催、新規出店・起業支援 等
④ 空き店舗等	空き店舗率、空き店舗数 等	テナントミックス、空き店舗情報の公開、新規出店・起業支援 等
⑤ 施設入込数等	観光施設入込客数、文化施設・都市福利施設の利用者数 等	複合施設整備、施設運営の民間委託、観光マップ・ルート整備、イベント開催 等
⑥ 公共交通機関利用	路面電車乗車人数、鉄道駅乗降客数 等	交通体系整備（ダイヤ・ルート）、ICカード等の活用 等
⑦ その他	上記①～⑦以外の目標指標として、平成24年度は、「第3次産業従業者数」「エコシール年間受取枚数」「事業所数」「まちづくりサポーター制度登録者数」等の指標がフォローアップの対象となっている。これらの目標指標に対して、情報通信関連企業の誘致事業、商店街における環境改善促進事業、人材育成事業等の取組が行われている。	

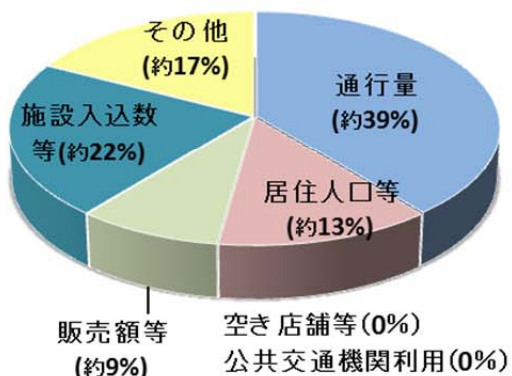
＜取組の進捗状況及び目標達成に関する見通し別指標数＞



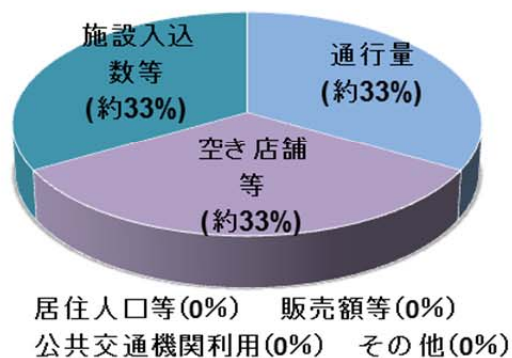
＜目標指標分類別の指標数＞



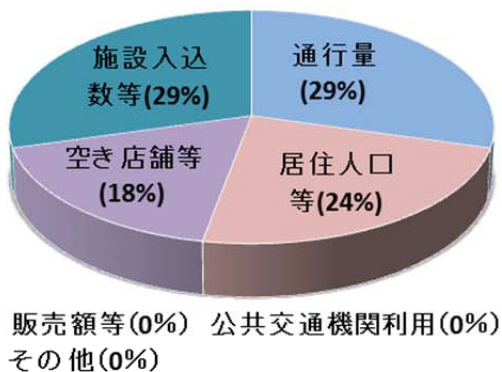
＜見通し A（全23指標）の内訳＞



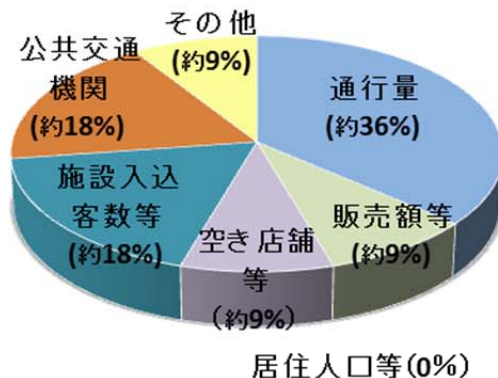
＜見通し a（全3指標）の内訳＞



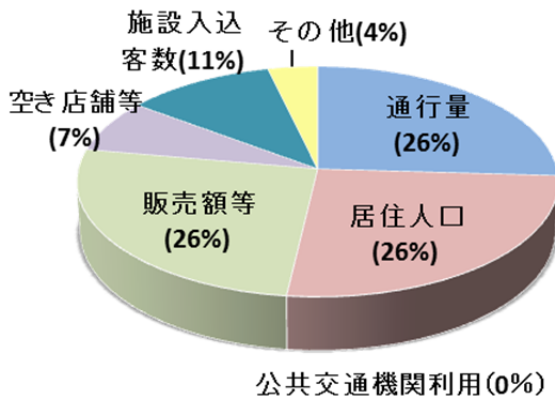
＜見通し B（全17指標）の内訳＞



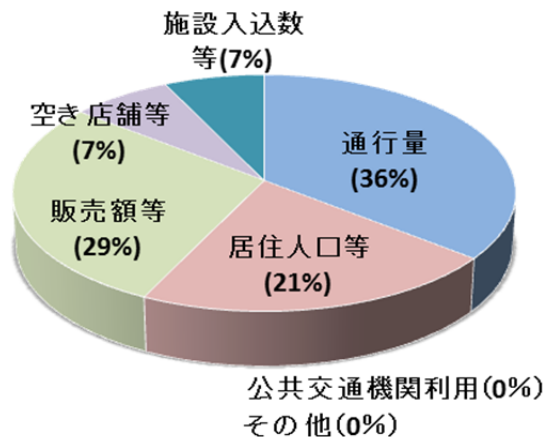
＜見通し b（全11指標）の内訳＞



＜見通し C（全27指標）の内訳＞



＜見通し c（全14指標）の内訳＞



(2)取組の進捗状況について

- 取組（事業等）の進捗が予定どおりである^(注1) 目標指標は全体の71%である。（平成23年度76%）
- 「居住人口等」、「施設入込数等」に係る目標指標は、取組の進捗が順調である指標の割合（取組順調率）が全体平均よりも高い^(注2)。
- 一方で、「通行量」、「販売額等」、「空き店舗等^(注3)」、「公共交通機関利用^(注3)」に係る目標指標の取組順調率は、全体平均よりも低い^(注2)。

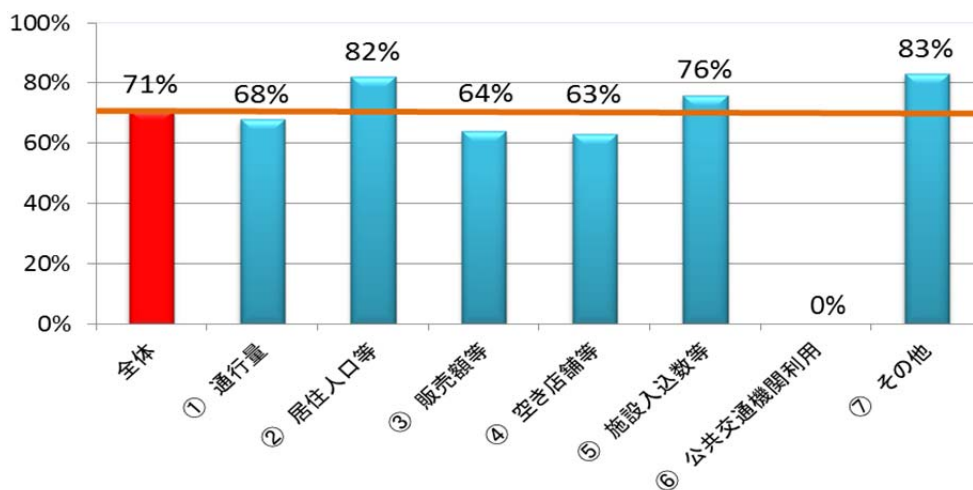
取組の進捗状況に関する分析結果

<各目標指標分野のA、B及びCの割合>

見通し	全体	① 通行量	② 居住人口 等	③ 販売額 等	④ 空き店舗 等	⑤ 施設入込 数等	⑥ 公共交通 機関利用	⑦ その他
A+B+C	67	21	14	9	5	13	0	5
<u>a</u> + <u>b</u> + <u>c</u>	28	10	3	5	3	4	2	1
合計	95	31	17	14	8	17	2	6
取組順調率	71%	68%	82%	64%	63%	76%	0%	83%

$$\text{取組順調率} = (A+B+C) / (A+\underline{a}+B+\underline{b}+C+\underline{c})$$

<目標指標分野別、取組順調率の比較>



(注1) 取組の進捗・完了状況及び目標達成状況等の分類（P3参照）のうち、「予定どおり進捗・完了」したものはA、B及びCが、進捗が「予定どおりでない」ものはa、b及びcが、それぞれ相当する。

(注2) 全目標指標のうちA、B及びCが選択された割合（取組順調率）が71%であったため、これと比較して数値が大きい（小さい）場合には、「取組順調率が全体平均よりも高い（低い）」としている。

(注3) 「空き店舗等」、「公共交通機関利用」に関しては、目標指標数そのものが少ないため、有意な結果となっていない可能性がある。

(3)目標達成の状況について

- 目標を達成した^(注1) 目標指標は全体の27%である。(平成23年度32%)
- 「通行量」、「施設入込数等」に関する目標指標は、目標を達成した指標の割合(目標達成率)が全体平均よりも高い^(注2)。
- 一方で、「居住人口等」、「販売額等」、「空き店舗等^(注3)」、「公共交通機関利用^(注3)」に関する目標指標の目標達成率は、全体平均よりも低い^(注2) 数値となっている。

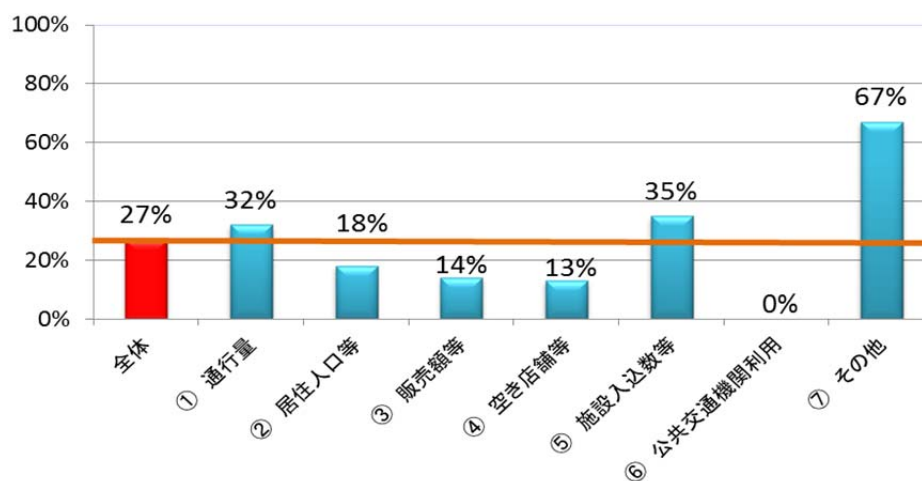
目標達成の状況に関する分析結果

<各目標指標分野のA及びaの割合>

見通し	全体	① 通行量	② 居住人口 等	③ 販売額 等	④ 空き店舗 等	⑤ 施設入込 数等	⑥ 公共交通 機関利用	⑦ その他
A + <u>a</u>	26	10	3	2	1	6	0	4
B + <u>b</u> + C + <u>c</u>	69	21	14	12	7	11	2	3
合計	95	31	17	14	8	17	2	7
目標達成率	27%	32%	18%	14%	13%	35%	0%	67%

$$\text{目達見込率} = (A + \underline{a}) / (A + \underline{a} + B + \underline{b} + C + \underline{c})$$

<目標指標分野別目達成率の比較>



- (注1) 取組の進捗・完了状況及び目標達成状況等の分類(P3参照)のうち、「目標が達成」したものはA及びaが、進捗が「目標未達成」ものはB、b、C及びcが、それぞれ相当する。
- (注2) 全目標指標のうちA及びaが選択された割合(目標達成率)が27%であったため、これと比較して数値が大きい(小さい)場合には、「目標達成率が全体平均よりも高い(低い)」としている。
- (注3) 「空き店舗等」、「公共交通機関利用」に関しては、目標指標数そのものが少ないため、有意な結果となっていない可能性がある。

(4) 基準値からの改善状況及び目標達成状況について

- 現況（実績値）が基本計画策定時の状況（基準値）から改善している目標指標は全体の57%である。（平成23年度58%）
- 「通行量」、「空き店舗等^(注1)」、「施設入込数等」、「公共交通機関利用^(注1)」に関する目標指標は、実績値が基準値から改善している指標の割合（基準値改善率）が全体平均よりも高い^(注2)。
- 一方で、「居住人口等」、「販売額等」に関する目標指標は、基準値改善率が全体平均よりも低い^(注2)。

基準値からの改善状況及び目標達成状況に関する分析結果

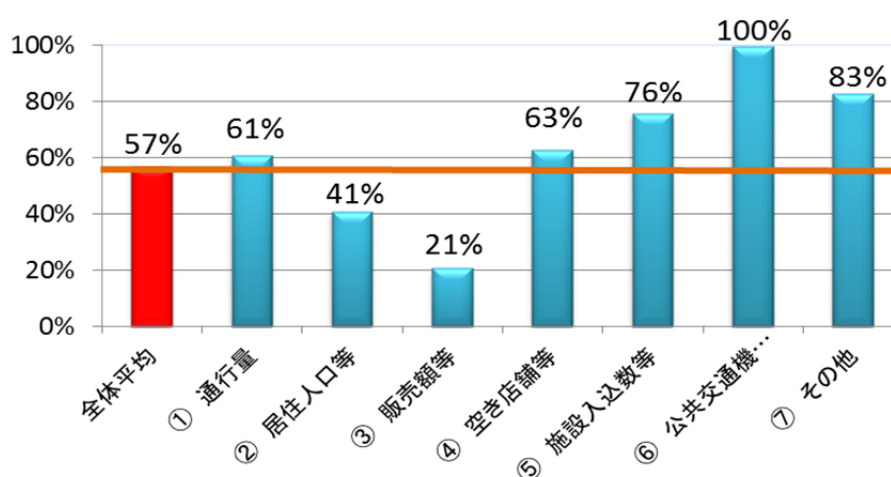
<各目標指標分野の改善状況及び目標達成状況>

改善状況	全体	① 通行量	② 居住人口等	③ 販売額等	④ 空き店舗等	⑤ 施設入込数等	⑥ 公共交通機関利用	⑦ その他
基準値より改善	54	19	7	3	5	13	2	5
（うち、目標達成）	26	10	3	2	1	6	0	4
基準値より悪化	41	12	10	11	3	4	0	1
合計	95	31	17	14	8	17	2	6
基準値改善率	57%	61%	41%	21%	63%	76%	100%	83%
目標達成率	27%	32%	18%	14%	13%	35%	0%	67%

基準値改善率＝基準値より改善 / (基準値より改善＋基準値より悪化)

目標達成率＝基準値より改善した指標のうち目標値を上回るもの / (基準値より改善＋基準値より悪化)

<目標指標分野別、基準値改善率の比較>



(注1) 「空き店舗等」、「公共交通機関利用」に関しては、目標指標数そのものが少ないため、有意な結果となっていない可能性がある。

(注2) 全目標指標のうちA、a、B及びbが選択された割合（基準値改善率）が57%であったため、これと比較して数値が大きい（小さい）場合には、「基準値改善率が全体平均よりも高い（低い）」としている。

Ⅲ. 中心市街地活性化テーマ別分析結果の概要

- 例えば「歩行者・自転車通行量」の目標指標においては、調査日が平日と休日によって、通行する人（前者は地域住民、後者は買い物客・観光客等の来街者が中心）や目標達成に向けた取組が異なる。
- そこで、フォローアップ対象の目標指標を中心市街地活性化のテーマ（居住者の利便性向上、来街者の呼び込み、商業振興）別に分類し、取組の進捗・完了状況、目標達成の状況、基準値からの改善状況等について分析した。

(1) 集計結果について

テーマ別集計結果

○ 各市がフォローアップを行った目標指標に係る取組の進捗・完了状況及び目標の達成状況に以下のⅠ～Ⅲの3つに分類した上で集計を行った。

見通し	全 体	Ⅰ 居住者の利便性 向上による活性化	Ⅱ 来街者の呼び込 みによる活性化	Ⅲ 商業振興による 活性化
A	2 3	9	9	5
a	3	0	2	1
B	1 7	7	7	3
b	1 1	1	7	3
C	2 7	7	1 1	9
c	1 4	3	6	5
合計	9 5	2 7	4 2	2 6

<取組の進捗・完了状況及び目標達成状況等の分類>

- A（計画した事業は概ね予定どおり進捗・完了。さらに、最新の実績でも目標値を超えている。）
- a（計画した事業は予定どおり進捗・完了しなかった。一方、最新の実績は目標値を超えている。）
- B（計画した事業は概ね予定どおり進捗・完了。一方、最新の実績では基準値を超えたが、目標値には達していない。）
- b（計画した事業は予定どおり進捗・完了しなかった。また、最新の実績では基準値を超えたが、目標値には達していない。）
- C（計画した事業は概ね予定どおり進捗・完了。一方、最新の実績では目標値及び基準値にも達していない。）
- c（計画した事業は予定どおり進捗・完了しなかった。また、最新の実績では目標値及び基準値にも達していない。）

目標指標分類	主な目標指標	主な取組例
Ⅰ 居住者の利便性向上による活性化	歩行者・自転車通行量(平日)*、居住人口、子育て施設・福祉施設・図書館等の利用者数 等	公共交通整備、駐輪場整備、歩行空間整備、文化交流施設整備、複合施設整備、居住環境整備（土地区画整理、マンション建設、商業施設整備等）、家賃補助、イベント開催 等
Ⅱ 来街者の呼び込みによる活性化	歩行者・自転車通行量(休日)*、観光施設入込客数、宿泊客数、鉄道駅乗降客数 等	観光マップ・ルート整備、歩行空間整備、複合施設整備、イベント開催、交通体系整備（ダイヤ・ルート）、ICカード等の活用 等
Ⅲ 商業振興による活性化	小売業年間商品販売額、年間売上高、空き店舗率、事業所数 等	集客拠点整備、駐車場整備、イベント開催、新規出店・起業支援、テナントミックス、空き店舗情報の公開 等

※「歩行者・自転車通行量」の指標のうち、平日・休日平均又は平日・休日合計で数値を把握しているものについては、休日のほうが通行量が落ち込んでいる傾向があり、対策を必要としている市町村が多いことから、「Ⅱ」に分類した。

(2)取組の進捗状況について

- 「居住者の利便性向上による活性化」のテーマに係る目標指標は、取組の進捗が予定どおりである^(注1) 指標の割合（取組順調率）が全体平均よりも高い^(注2)。
- 一方で、「来街者の呼び込みによる活性化」及び「商業振興による活性化」のテーマに係る目標指標の取組順調率は、全体平均よりも低い^(注2)。

取組の進捗状況に関する分析結果

<中心市街地活性化に関する各テーマのA、B及びCの割合>

見通し	全体	I 居住者の利便性 向上による活性化	II 来街者の呼び込 みによる活性化	III 商業振興による 活性化
A+B+C	67	23	27	17
<u>a+b+c</u>	28	4	15	9
合計	95	27	42	26
取組順調率	71%	85%	64%	65%

$$\text{取組順調率} = (A+B+C) / (A+\underline{a}+B+\underline{b}+C+\underline{c})$$

- (注1) 取組の進捗状況及び目標達成に関する分類（P3参照）のうち、進捗が概ね予定どおりであるものはA、B及びC、進捗が予定どおりでないものはaとbとcが、それぞれ相当する。
- (注2) 全目標指標のうちA、B及びCが選択された割合（取組順調率）が71%であったため、これと比較して数値が大きい（小さい）場合には、「取組順調率が全体平均よりも高い（低い）」としている。

(3)目標達成の状況について

- 「居住者の利便性向上による活性化」のテーマに係る目標指標は、目標を達成している^(注1) 指標の割合（目標達成率）が全体平均よりも高い^(注2)。
- 一方で、「来街者の呼び込みによる活性化」及び「商業振興による活性化」のテーマに係る目標指標の目標達成率は、全体平均よりも低い^(注2)。

目標達成の状況に関する分析結果

<中心市街地活性化に関する各テーマのA及びaの割合>

見通し	全体	I 居住者の利便性 向上による活性化	II 来街者の呼び込 みによる活性化	III 商業振興による 活性化
A+a	26	9	11	6
B+b+C+c	69	18	31	20
合計	95	27	42	26
目標達成率	27%	33%	26%	23%

$$\text{目標達成率} = (A+a) / (A+\underline{a}+B+\underline{b}+C+\underline{c})$$

- (注1) 取組の進捗状況及び目標達成に関する分類（P3参照）のうち、目標達成としているものはA及びa、目標達成できなかったとしているものはB、b、C及びcが、それぞれ相当する。
- (注2) 全目標指標のうちA及びaが選択された割合（目標見込率）が27%であったため、これと比較して数値が大きい（小さい）場合には、「目標達成率が全体平均よりも高い（低い）」としている。

(4) 基準値からの改善状況及び目標達成状況について

- 「居住者の利便性向上による活性化」及び「来街者の呼び込みによる活性化」のテーマに関する目標指標は、実績値が基準値から改善している指標の割合（基準値改善率）が全体平均よりも高い^(注1)。
- 一方で、「商業振興による活性化」のテーマに係る目標指標の基準値改善率は、全体平均よりも低い^(注1)。

基準値からの改善状況及び目標達成状況に関する分析結果

<中心市街地活性化に関する各テーマの改善状況及び目標達成状況>

改善状況	全体	I 居住者の利便性 向上による活性化	II 来街者の呼び込 みによる活性化	III 商業振興による 活性化
基準値より改善	54	17	25	12
(うち、目標達成)	26	9	11	6
基準値より悪化	41	10	17	14
合計	95	27	42	26
基準値改善率	57%	63%	60%	46%
目標達成率	27%	33%	26%	23%

基準値改善率＝基準値より改善 / (基準値より改善＋基準値より悪化)

目標達成率＝基準値より改善した指標のうち目標値を上回るもの / (基準値より改善＋基準値より悪化)

(注1) 全目標指標のうち、実績値が基準値から改善している目標指標の割合（基準値改善率）が57%であったため、これと比較して数値が大きい（小さい）場合には、「基準値改善率が全体平均よりも高い(低い)」としている。

IV. 計画期間終了後の中心市街地の状況

計画した事業が順調に進捗・完了したかどうか、また、中心市街地の活性化が図られたかどうかについて、個別指標や中心市街地活性化協議会及び市民の意見等を参考に各市が総合的に判断。その結果を集計した。

(1) 進捗・完了状況及び活性化状況について

○対象自治体30市のうち27市が、計画した事業が概ね順調に進捗・完了したと判断している。

【進捗・完了状況】

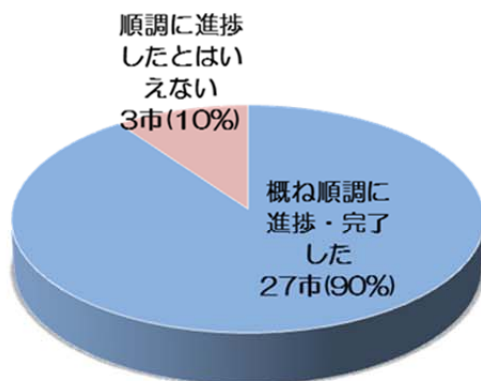
(計画期間終了後の状況)	事業の進捗は順調	事業の進捗は順調でない
自治体数(全30市)	27	3

【活性化状況】

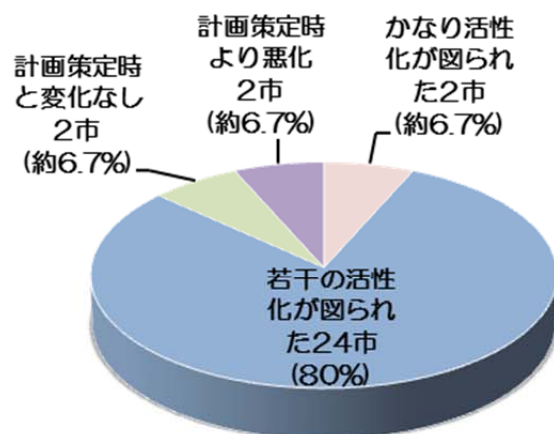
(計画期間終了後の状況)	かなり活性化が図られた	若干の活性化が図られた	活性化に至らなかった(計画策定時と変化なし)	活性化に至らなかった(計画策定時より悪化)
自治体数(全30市)	2	24	2	2

※中心市街地の活性化は図られたのかを個別指標毎でなく中心市街地の状況を自治体が総合的に判断。

【進捗・完了状況】



【活性化状況】



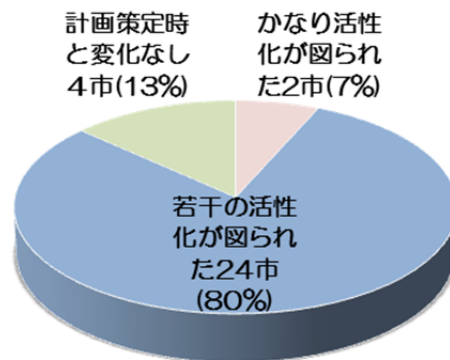
(2) 中心市街地活性化協議会の意見について

○対象自治体30市のうち26市における中心市街地活性化協議会が、中心市街地の活性化が図られたと意見している。

【中心市街地活性化協議会としての意見】

(計画期間終了後の状況)	かなり活性化が図られた	若干の活性化が図られた	活性化に至らなかった (計画策定時と変化なし)	活性化に至らなかった (計画策定時より悪化)
自治体数(全30市)	2	24	4	0

※中心市街地の活性化は図られたのかを、計画期間中の取組をふり返ってみて中心市街地活性化協議会が総合的に判断。



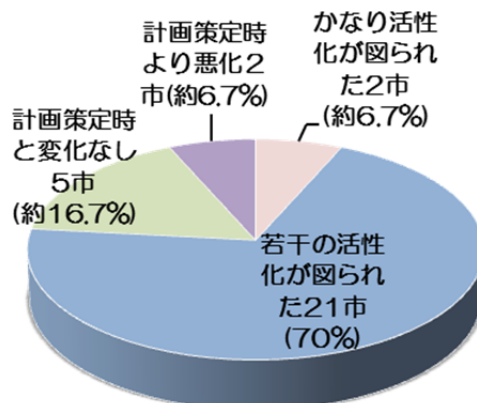
(3) 市民からの評価、市民意識の変化について

○対象自治体30市のうち23市における市民が、中心市街地の活性化が図られたと意識している。

【市民からの評価、市民意識の変化】

(計画期間終了後の状況)	かなり活性化が図られた	若干の活性化が図られた	活性化に至らなかった (計画策定時と変化なし)	活性化に至らなかった (計画策定時より悪化)
自治体数(全30市)	2	21	5	2

※中心市街地の活性化状況について市民意識調査等により市民の声を聴取し、市民意識の変化を総合的に判断。



V. 中間フォローアップ報告との比較

- 最終フォローアップ対象自治体30市においては、計画期間中に取組（事業等）の進捗状況及び目標達成の見通し等について自己評価（中間フォローアップ）を実施している。
- 計画期間中の取組状況の変化を把握するため、直近の中間フォローアップにおける取組（事業等）の進捗状況及び目標達成の見通しと計画終了後の結果についての比較分析を行った。

(1)進捗・完了状況及び目標達成状況について

		進捗状況は予定どおり(順調)	遅延等(順調でない)
最終フォローアップ	目標達成	23指標 : 24%	3指標 : 3%
中間フォローアップ	(達成は見込まれる)	(32指標 : 34%)	(28指標 : 30%)
最終フォローアップ	目標未達成	43指標 : 46%	25指標 : 27%
中間フォローアップ	(達成は見込まれない)	(19指標 : 20%)	(15指標 : 16%)

※販売額等の指標については、活用する商業統計が見直され中間年の調査が実施されなくなったことから、中間フォローアップを実施した94指標で集計を行った。

(2)取組(事業等)の進捗・完了状況について

- 中間フォローアップ時において順調でなかった指標が、計画終了時には予定どおりであると評価された指標が約2割を占める。
- 中間フォローアップ時においては順調であった指標が、計画終了時には順調でない指標の割合が約5%にとどまっている。

		最終フォローアップ	
		進捗状況は概ね予定どおり	進捗状況は遅延等
中間 フォローアップ	取組進捗順調	46指標 (48.9%)	5指標 (5.3%)
	取組進捗でない	20指標 (21.3%)	23指標 (24.5%)

(3)目標値の達成状況について

- 中間フォローアップ時において目標達成可能と見込まれていた指標が、計画終了時ににおいて目標達成となった指標が27.7%を占める。
- 中間フォローアップ時において目標達成可能と見込まれていた指標が、計画終了時には未達成となった指標が36.2%を占める。

		最終フォローアップ	
		目標達成	目標未達成
中間 フォローアップ	目標達成可能と見込まれる	26指標 (27.7%)	34指標 (36.2%)
	目標達成と見込まれない	0指標 (0%)	34指標 (36.2%)

VI. 好取組事例



① 歩行者通行量の増加に繋がっている事例

市町村名	稚内市(北海道)【平成21年6月30日認定】				
計画期間	平成21年6月 ~ 平成25年3月				
目標指標	歩行者交通量(休日・平日平均)の増加				
主な支援措置	社会資本整備総合交付金(市街地再開発事業) 戦略的中心市街地商業等活性化支援事業費補助金				
基準値	938人/日 (平成19年)	実績値	1,282人/日 (平成24年)	目標値	1,079人/日 (平成24年)
取組概要	<p>○第1期計画において、稚内駅前地区第1種市街地再開発事業により新たな拠点として、映画館や飲食物販店舗、地域交流センターといった集客機能が設備された複合交流施設を整備した。</p> <p>○同時に駅前広場、周辺道路を一体的に整備したことにより、「マチ」から「みなと」までを統一感のある景観を形成し歩行環境が向上した。</p> <p>○一体的な事業を実施したからこそ生まれる相乗効果が、歩行者交通量の増加に大きく寄与した。</p>				
					
	＜複合交流施設＞		＜稚内駅周辺地区＞		

② 居住人口の増加に繋がっている事例

市町村名	宮崎市(宮崎県)【平成19年5月28日認定】				
計画期間	平成19年5月 ~ 平成25年3月				
目標指標	居住人口の増加(夜間人口)※中心市街地区域での現住人口				
主な支援措置	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)				
基準値	7,575人 (平成17年)	実績値	8,619人 (平成24年)	目標値	8,025人 (平成24年)
取組概要	<p>○中心市街地の文化・芸術の推進施設である「みやざきアートセンター」や宮崎駅西口拠点施設である「複合交通センター」の整備を行い、都市機能の充実を図った。</p> <p>○周辺道路の電線類地中化や段差解消、緑化事業などのハード整備により中心市街地の魅力向上が図られたほか、地域優良賃貸住宅制度を活用し、高齢者を対象とした民間賃貸住宅の整備費用の一部助成及び家賃助成を行った。</p>				
					
	＜複合交通センター「KITENビル」＞		＜地域優良賃貸住宅「ふくふくマンション」＞		

③販売額の増加に繋がっている事例

市町村名	久慈市(岩手県)【平成19年5月28日認定】				
計画期間	平成19年5月 ~ 平成25年3月				
目標指標	年間商品販売額の増加				
主な支援措置	戦略的中心市街地商業等活性化支援事業費補助金				
基準値	4,460百万円 (平成15年)	実績値	5,112百万円 (平成24年)	目標値	4,800百万円 (平成24年)
取組概要	<p>○平成20年4月に「やませ土風館(観光交流センターと物産館からなる複合施設)」がオープンし、観光客だけではなく食品や日用品を求める市民によっても賑わっている。</p> <p>○平成23年3月に発生した東日本大震災によって全体的に観光入込が落ち込んだが、最近ではNHK連続テレビ小説の舞台になる等、徐々に回復の兆しが見られる。</p> <p>○「やませ土風館」の賑わいが、「成功店モデル創出・波及事業」等の取組みによって周辺の商店街へも波及したことにより、中心市街地における商業の活性化につながった。</p>				
					
	＜やませ土風館＞		＜周辺では定期的に市(いち)を開催＞		

④施設入込数の増加に繋がっている事例

市町村名	大野市(福井県)【平成20年7月9日認定】				
計画期間	平成20年7月 ~ 平成25年3月				
目標指標	関連施設年間入込み客数の増加(中心市街地主要5施設)				
主な支援措置	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)				
基準値	80,234人 (平成19年)	実績値	133,031人 (平成24年)	目標値	100,000人 (平成24年)
取組概要	<p>○第1期計画において、観光客等の来訪者が立ち寄り、集う場所として、「越前おおの結ステーション」や「城下町東広場」等の観光拠点の整備を行った。</p> <p>○平成22年には、越前大野城築城430年祭を開催し、関連施設利用者への集客に大きな効果をもたらした。</p> <p>○越前大野城ライトアップ事業、平成大野屋事業等の継続した取組により、越前大野城築城430年祭終了後も、イベントの効果が一過性で終わらず、街中に賑わいをもたらしている。</p>				
					
	＜越前大野城築城430年祭＞		＜まちなか遠足誘致促進事業＞		

VII. 取組の進捗・完了状況及び目標達成状況に関する各市からの報告

<取組の進捗状況及び目標達成に関する見通しの評価分類>

- A (計画した事業は概ね予定どおり進捗・完了。さらに、最新の実績でも目標値を超えている。)
a (計画した事業は予定どおり進捗・完了しなかった。一方、最新の実績は目標値を超えている。)
 B (計画した事業は概ね予定どおり進捗・完了。一方、最新の実績では基準値を超えたが、目標値には達していない。)
b (計画した事業は予定どおり進捗・完了しなかった。また、最新の実績では基準値を超えたが、目標値には達していない。)
 C (計画した事業は概ね予定どおり進捗・完了。一方、最新の実績では目標値及び基準値にも達していない。)
c (計画した事業は予定どおり進捗・完了しなかった。また、最新の実績では目標値及び基準値にも達していない。)

<進捗・完了、活性化状況について、自治体、中活協議会、市民からの評価>

- ① かなり活性化が図られた
 ② 若干の活性化が図られた
 ③ 活性化に至らなかった (計画策定時と変化なし)
 ④ 活性化に至らなかった (計画策定時より悪化)

都道府県名	市町村名	目 標	目標指標	自治体評価			中活協議会意見	市民評価
				評価分類	進捗完了状況	活性化状況		
平成19年5月28日認定								
岩手県	久慈市	山・里・海を愉しめる中心市街地全体の賑わいの創出	商品販売額	A	①	①	①	①
		安心して快適に住み続けられる生活空間づくり	歩行者・自転車通行量(平日・休日)	A				
岐阜県	岐阜市	まちなか居住の推進	定住人口に係る社会増減数	B	①	②	②	②
		商業活性化の増進	居住人口	B				
		にぎわいの創出	小売業年間商品販売額	c				
山口県	山口市	人々を惹きつける魅力ある中心市街地の形成	空き店舗数	B	①	②	②	②
		誰もが住みたくなるような中心市街地の形成	歩行者・自転車通行量	C				
			商店街通行量(休日)	b				
香川県	高松市	商業・サービスの魅力強化	小売業年間商品販売額	C	①	②	②	②
		来街者の回遊促進	空き店舗率	B				
		居住促進	年間商品販売額	C				
宮崎県	宮崎市	賑わいの創出	歩行者通行量(自転車を含む)(休日)	B	①	②	②	④
		まちなか居住の推進	定住人口	B				
		就業機会の創出	歩行者通行量(休日)	C				
平成19年8月27日認定								
北海道	砂川市	賑わいの創出	歩行者・自転車通行量(平日)	B	①	②	②	③
		まちなか居住の促進	まちなか居住人口	C				
		商店街活性化	小売業年間商品販売額	C				
平成19年11月30日認定								
福井県	福井市	訪れやすい環境をつくる	公共交通機関乗車数(鉄道1日平均)	b	①	③	③	②
		居住する人を増やす	居住人口	c				
		歩いてみたくなる魅力を高める	歩行者・自転車通行量(休日)	c				
福井県	越前市	住みよく、多様な住まい方が選択できる中心市街地	居住人口	C	①	②	②	②
		多様な主体の活動と交流による“にぎわう”中心市街地	歩行者数(休日)	A				
鳥取県	鳥取市	住みたいまち	居住人口	B	①	②	②	③
		行きたいまち	歩行者・自転車通行量(鳥取駅周辺地区)(平日)	C				
			歩行者・自転車通行量(鳥取城跡周辺地区)(平日)	A				
		ふるさとを感じるまち	空き店舗数	C				
平成19年12月25日認定								
鹿児島県	鹿児島市	にぎわい創出と回遊性の向上	歩行者通行量(20地点、土日)	B	①	②	②	②
		観光振興	中心市街地の年間入込観光客数	B				
		商店街活性化	小売業年間商品販売額	c				
平成20年3月12日認定								
北海道	滝川市	まちなか居住の促進	街なか居住人口	C	①	②	②	②
		市民活動の活性化	コミュニティ施設等利用者数	B				
		賑わい創出	歩行者・自転車通行量(平日)	A				
			空き店舗数	B				
新潟県	新潟市	賑わい・交流の促進	歩行者通行量(休日)	c	①	②	②	②
		まちなか居住の促進	居住人口	A				
		都市型雇用の創出	第3次産業従業者数	A				
静岡県	藤枝市	人々が集い、快適・満足に、はつらつとすごせるまち	歩行者通行量(休日)	a	①	②	②	②
		結びつきに支えられ、健やかに暮らせるまち	宿泊客数	a				
			公共施設利用者数	A				

都道府県名	市町村名	目 標	目標指標	自治体評価			中活 協議会 意見	市民 評価
				評価 分類	進捗完 了状況	活性化 状況		
平成20年7月9日認定								
北海道	小樽市	まちなかのにぎわい創出	中心市街地の歩行者通行量	C	①	②	②	②
		まちなか居住の促進	中心市街地の居住人口	C				
		まちなかでの宿泊の促進	中心市街地の宿泊客数	C				
岩手県	盛岡市	賑わいあふれる中心市街地	中心市街地の小売年間販売額	c	①	②	②	②
		訪れたい中心市街地	中心市街地の歩行者・自転車通行量	c				
		賑わいあふれる中心市街地	盛岡市街の観光客入込数	A				
山形県	鶴岡市	交流の拡大	主要観光施設年間観光入込み客数	b	①	③	③	③
		中心商店街の活性化	自転車歩行者通行量(休日)	c				
		中心商店街の活性化	空き店舗数	a				
福井県	大野市	まちなか観光による交流人口の増加	関連施設の年間入込み客数(中心市街地主要5施設)	A	①	①	①	②
		商店街を中心としたまちなか生活の充実	1日当たりの歩行者通行量(休日6地点)	A				
		商店街を中心としたまちなか生活の充実	1日当たりの歩行者通行量(休日6地点)	A				
岐阜県	中津川市	自ら誇れるまちの創出	観光客入り込込数	C	①	②	②	②
		快適に暮らすことのできる市街地の形成	中心市街地居住人口	c				
		商業活性化の推進	中心市街地歩行者数(平日)	A				
愛知県	豊田市	活力とにぎわいの創出	歩行者通行量(平日)	b	①	②	②	②
		公共交通と自動車交通が調和した交通体系の実現	鉄道駅1日乗降客数	b				
		環境に配慮したまちづくりの実践	エコシール年間受取枚数	A				
滋賀県	大津市	駅・港を結ぶ動線リニューアルによるにぎわい創出	休日の歩行者・自転車通行量	b	②	②	②	②
		琵琶湖湖岸・港における集客・交流機能強化	琵琶湖観光客入込数	B				
兵庫県	神戸市 (新長田)	ものづくりのまち・長田の再生	事業所数	A	①	②	②	④
		賑わいのある商業空間づくり	年間小売販売額	C				
		個性的な集客拠点づくり	休日歩行者通行量	B				
兵庫県	尼崎市	商業活性化の推進による魅力あふれるマチ	小売業年間販売額	C	①	②	③	②
		「ものづくりのまち・尼崎」の産業活力を育むマチ	サービス業等事業所数	b				
		地域資源を活かしたにぎわいあふれるマチ	休日の歩行者通行量	C				
兵庫県	伊丹市	暮らしやすく集い学べる郷町(まち)なか	文化施設利用者	B	①	②	②	①
		歩いて楽しい郷町(まち)なか	歩行者・自転車通行量(休日5ポイント)	A				
		活気あふれる郷町(まち)なか	まちづくりサポーター制度登録者数	A				
島根県	松江市	観光・交流	中心市街地内の観光入込客数	C	①	②	②	②
		近隣集客拠点	通行量(歩行者及び自転車)(平日・休日合計)	A				
		まちなか居住	中心市街地内の人口	C				
高知県	四万十市	賑わいと回遊性のあるまちづくり	歩行者・自転車通行量(平日・休日の平均値)	c	②	④	②	②
		安心・安全に住みやすいまちづくり	観光入込み客の宿泊客数	c				
		安心・安全に住みやすいまちづくり	まちなか居住人口	c				
		商店街の再生による魅力あるまちづくり	小売業年間商品販売額	c				
大分県	大分市	こだわりに出会える価値観の高い商業の再生	小売業年間商品販売額	C	①	④	③	③
		安心・安全に回遊できるひと中心のまち創出	歩行者通行量(土日)	C				
		街なかで過ごすライフスタイルを提案するまち創出	まちなか滞留時間(3時間以上の割合)	C				
大分県	別府市	まちなかの賑わい創出	歩行者通行量(休日)	b	②	②	②	②
		まちなか観光の活性化	観光宿泊客数	b				
		まちなか商業の活性化	小売業年間販売額	b				
青森県	八戸市	来街者を増やす	歩行者通行量(休日)	C	①	②	②	②
		定住を促進する	居住人口	C				
平成20年11月11日認定								
熊本県	山鹿市	来街動機を増やす	歩行者通行量(平日・休日平均)	B	①	②	②	③
		商業施設等の充実	年間小売販売額	C				
平成21年6月30日認定								
北海道	稚内市	街歩きが楽しいマチ	歩行者交通量(休日・平日平均)	A	①	②	②	②
		住みたい・住み続けたいマチ	定住人口	C				
		人が集まるマチ	年間主要施設入り込み客数	A				